



彩の国
埼玉県



埼玉県熊谷家畜保健衛生所

住所 熊谷市円光1-8-30

電話 048-521-1274/FAX048-526-1063

(夜間・休日等は緊急携帯電話に転送)

E-mail k211274@pref.saitama.lg.jp

家畜衛生だより

令和7年6月発行 No.7-4

家畜も人も暑さ対策をしっかりと！

気象庁によると、本州付近を中心に暖かい空気が流れ込みやすくなる見込みで、6月・7月から全国的に平年より高い気温になると予想されています。

暑熱ストレスは家畜の生産性に大きな影響を与えるので早めに対策を行いましょう、また、作業者の熱中症予防も忘れず行いましょう。

●暑熱対策のポイント

○動物の体にできること

飼育密度をさげる、

換気扇や扇風機による送風（散水・散霧と併せると効果的）

○畜舎にできること

寒冷紗やよしずによる日避け、屋根裏・壁・床への断熱材の設置、
屋根への消石灰の塗布

○エサや水でできること

消化の良いエサの給与、ビタミンやミネラルの追給、冷たい水の給与



換気扇による送風（福井県）



石灰の吹き付け（宮崎県）



植物を利用した日除け（兵庫県）

農水省 HP より

【参考】牛の適温域 泌乳牛：5～20℃、育成牛：10～25℃、肉用牛：5～25℃

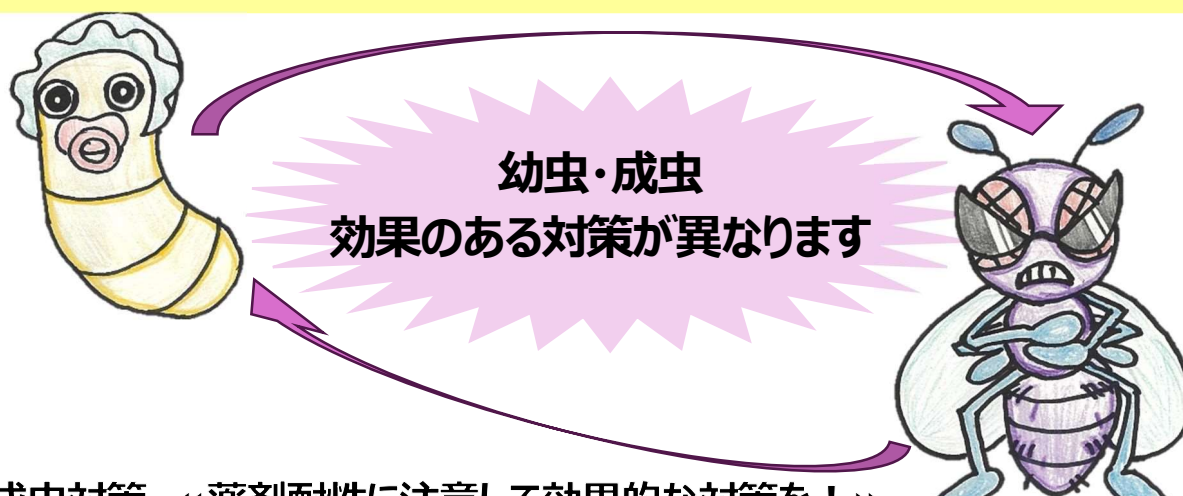
ハエ防除 幼虫と成虫それぞれ適した方法を

ハエの発生は、苦情の原因になるばかりでなく、病原菌やウイルスの媒介、ストレスによる生産性の低下にもつながります。

効果的な駆除方法について確認し、ハエの発生しにくい環境を作りましょう。

● 幼虫対策 <<対策の基本、発生源を叩く！>>

- ・ 幼虫は成虫の約4～5倍も存在するといわれています。
- ・ こまめに（週に1回以上）**除糞と清掃**をしましょう。
- ・ 堆肥の適切な切り返しにより、**発酵熱**（温度40℃以上）と**乾燥**（水分50%以下）でウジのふ化率が激減します。
- ・ **昆虫成長制御剤（IGR 剤）**を散布しましょう。即効性は無いので、早期から定期的に散布すること。（成虫への効果は期待できません）



● 成虫対策 <<薬剤耐性に注意して効果的な対策を！>>

- ・ **殺虫剤の散布**はハエが畜舎内にとどまっている早朝か夕方以降、雨天の日が効果大です。有機リン剤・合成ピレスロイド系を用いましょう。
- ・ 同じ殺虫剤を連用するとハエが耐性を獲得するので、異なる系統の薬剤をローテーションして使用しましょう。
- ・ 砂糖・酒等と有機リン剤やカーバメイト剤を混ぜて、**毒餌**として設置・塗布。
- ・ **粘着シート**は地面から高さ1 m以内の高さでの設置が効果的です。

動物用医薬品の適正使用をお願いします！

動物用医薬品には、食品への残留を防ぐため「使用禁止期間(休薬期間)」が設けられているものがあります。不適切使用により、食品衛生法で定められた基準値を超えて医薬品が残留すると、廃棄や回収の対象になるため、用法・用量及び使用上の注意に従うとともに、使用状況等の記録をお願いします。

- ✓ 休薬期間が終わるまでは出荷できません。休薬期間は、診療獣医師の指示や獣医師が発行する処方箋・指示書で確認してください。
- ✓ 動物用医薬品は決められた場所に保管してください。
- ✓ 動物用医薬品を使用した際には、全ての医薬品の投与記録を記帳し、記録は保管してください。

◎休薬期間の数え方

例)搾乳前休薬期間 72時間 ※投薬時点から時間を数えます。

	月	火	水	木
投薬	→			出荷 OK

例)と殺前休薬期間 3日間 ※投薬当日は「0日目」と数えます。
投薬当日と出荷日は休薬期間に含めません。

月	火	水	木	金
投薬	1日目	2日目	3日目	出荷 OK



今一度、見直しをお願いします！

- 休薬期間は正確に記録されていますか？記録の紛失はありませんか？
- 複数の担当者がある場合、どの動物にどの薬剤を投与したのか、いつまで休薬期間なのか、情報が共有されていますか？投与した家畜にマークを付ける、場所を移動するなど識別して間違いを防ぎましょう。
- 病畜は薬物の分解や排出に時間がかかる場合があります。出荷を休薬期間よりも延ばす等の対策をお願いします。

使用する際には、必ずかかりつけの獣医師の指示に従い、適正に使用してください。